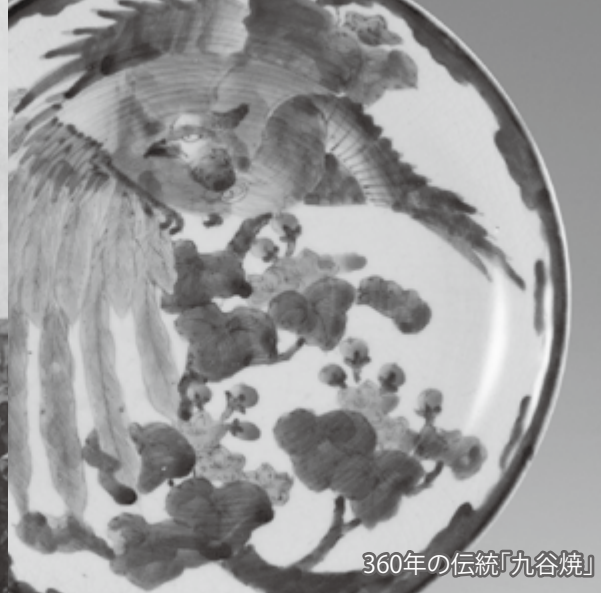




次世代にふるさとを届けていくことの大切さを伝える御製碑
(木場潟公園)



昭和初期の曳山子供歌舞伎



360年の伝統「丸谷焼」



木場潟から望む白山連峰はまさに絶景

PASS
THE
BATON

ふるさと「まつ」を 未来へつなぐ

私たちのふるさとこまつ。
自然や文化などの恵まれた地域資源は、こまつに関わり合いのある人々にとって、心の拠りどころであり、共通の尊い財産です。これらを守り発展させ、次世代へ引き継いでいくため、「ふるさとこまつを未来へつなぐ条例」を制定しました。

問い合わせ

経営政策課 ☎ 24・8037

先人たちの努力に感謝

悠久の歴史のなか、その時代を生きた先人たちは、知恵を絞り、技術を磨き、挑戦を続け、郷土の新しい未来を切り拓いてきました。その先人たちの想いと行動は、幾世にもわたり、次の時代を生きる人々に確かに伝えつながれてきました。

私たちが今、受け継いでいるこのこまつは、先人たちのたゆまぬ努力の結晶なのです。

ふるさとは

かけがえのない宝物

こまつには、白山連峰を望む木場潟や、緑豊かな里山などの自然環境、曳山子供歌舞伎に代表される伝統的な風習、芸術、芸能などの文化、それらが織り成す景観、ものづくりや農林水産業といったこまつ底力である産業などの貴重な地域資源があります。

そして、これらは私たちの暮らしを豊かにし、まちを発展させ、心に潤いをもたらしています。

未来志向で時代を先取り

しかし、環境エネルギー問題や自然災害、人口減少など、私たちが取り巻く社会は変化し、将来への大きな課題となっています。

また、地方創生の動きは、地域を再認識する機会でもあり、グローバル化の進展や科学技術の進歩は、まちを成長させる追い風となります。

このような時代変化を先読みしながら、未来を見据えたまちづくりを進めていくことが重要です。

P D C A によるまちづくり

そこで、市政やまちづくり、市民活動などの基幹となる考えを示した「ふるさとこまつを未来へつなぐ条例」を制定しました。

条例には、持続的にふるさとを継承・発展させて未来へつなぐという方

向性を、ビジョン、行動計画などに織り込むことや、P D C A (計画―実行―評価―改善)の展開、様々な団体や個人が主体性をもってふるさとづくりを実践していくことを記しています。

子どもたちのため、 まだ見ぬ次世代のために

このまちは、人から人へつなぐれ発展してきました。そして、次の世代へ引き継いでいく大事な役割を担うのは、今を生きる私たちです。

市や市議会をはじめ、ふるさとを想う市民や地域、事業者、教育機関、各種団体が、互いに連携・協力し合い、共創の精神で、ふるさとの継承と未来創りを進めていきましょう。

○条例の本文は市ホームページに掲載しています。

みんなが創り上げた大切なふるさと。
ふるさとを想い、ふるさとを知り、
その良さをたくさんの人に伝えて、
もつともつと素敵なるふるさとこまつを
未来へつないでいきましょう。



雄飛さんは、スウェーデン・ウメオ市に日本庭園を造成するプロジェクトにも参加。美しい苔の文化を伝えた。

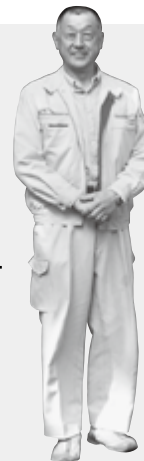


高雄飛さん
(日用町)

▶景観を守っていくのは大変ですが、息子には技術はもちろん、仕事や地域活動から色々なことを学び、人間的にも成長して欲しいです。

PASS THE BATON 苔の里維持・造園

◀身近な苔が貴重なものだ最近になり実感しています。地道ですが、町の皆さんと共に、しっかりと続けていくことが大事だと思います。



高富師彰さん
(日用町)



龍助町大獅子の皆さんは、毎年芦城校下の子どもたちを指導し、技術継承を行っている。

左：竹村悠希さん、右：松島和真さん
(共に芦城中3年)



▶獅子舞を通して子どもたちに絆や誇り、そして楽しみが生まれます。大人もこの気持ちが原動力です。獅子舞の技法だけでなく想いも伝えていきたいです。

PASS THE BATON 子供獅子

◀普段の練習は上級生が下級生に獅子舞を教えます。みんなで練習を重ね、コンクールで上位を取りたいです。



龍助町大獅子親方
木田雅章さん

ふるさとは人から人へ、心から心へ